

第6学年 社会科 学習指導案

令和8年2月10日(火) 第5校時

四万十市立東山小学校

6年1組 児童数26名

指導者 濱口 健斗

1 単元名

「世界の中の日本 ～地球規模の課題の解決と国際協力～」(教育出版)

2 単元について

(1)学習指導要領における内容

(3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(イ) 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ(イ) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。

(2)単元観

本単元では、国際連合は平和な国際社会の実現のために大きな役割を果たしていること、我が国は、国際連合の一員としてユニセフやユネスコの活動に協力していることなど、平和な国際社会の実現のために大きな役割を果たしていることや、我が国が教育や医学、農業などの分野で諸外国の発展に貢献していること、今後も国際社会の平和と発展のために果たさなければならない責任と義務があることなどをもち、グローバル化する国際社会における我が国の役割について理解することをねらいとしている。また、社会的事象の見方・考え方を働かせ、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子について、「世界ではどのような課題が発生しているか」、「国際連合や我が国は課題を解決するためにどのような連携や協力を行っているか」などの問いを設けて調べたり、地球規模で発生している課題とその解決のための連携や協力の様子を関係づけて、我が国が果たしている役割を考えたりして、調べたことや考えたことを表現することもねらいとして位置づけている。

このように、単元を通して社会的事象について学習問題を主体的に解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として、世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うようにしている。

(3) 児童観

質問項目	強肯定	肯定	否定	強否定
①社会科の学習は好き（楽しい）ですか？	19	4	1	0
社会科の学習で好き（楽しい）活動は何ですか？（複数選択可能） ・調べた内容をノートに書く（16） ・黒板に書かれている内容をノートに書く（13） ・国探しゲーム（20） ・資料や映像を考える（17） ・自分の考えを書く、まとめる（12） ・友達と話し合うまとめる（16） <div style="text-align: right;">（ ）は肯定数</div>				
②社会科の勉強は将来役に立つと思いますか？	14	9	1	0
肯定理由 ・昔の社会を知ることによって今自分たちがどうすべきかを考えることができるから。 ・昔あったことなどを知っておくと、もし戦争がおきたときに早く理由などを知ることができるから。 ・昔あった色々な出来事を風化させないため、昔の出来事を知らない人たちに話して伝えていくため。etc 否定理由 ・自分のなりたい仕事に使わないから。				

質問①より社会科の学習に対して、前向きな回答が見られた。6年生2学期よりスタートした歴史の授業が楽しいようで、図書貸し出しの際には歴史本を手取る様子が多く見られている。また、質問②の肯定理由より、社会科の学習の本質を捉えている児童がいることも見取ることができた。しかし、好きな（楽しい）理由として、自分の考えを書くことや友達と話し合うことを選んだ児童が他の項目よりやや少ないことが気になる点である。

(4) 指導観

本単元の指導は、世界の国の人々の生活、国際連合や我が国の国際協力について学習したことを基に、グローバル化する国際社会において、今後、我が国が果たすべき役割、義務や責任について過去の戦争や原爆による人類最初の災禍を経験した我が国の立場、国際的な協力や援助を必要としている国や地域の人々などの立場、国際連合など国際的な機関の立場などから多角的に考えたり、世界の人々と共に生きていくために大切なことについて、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりして、世界の平和に向けて自分の考えをまとめ・表現する活動を大切に取り扱う。

タブレット端末の活用については、3つの場面を想定している。1つ目は「めあて」「学習評価」「振り返り」等スプレッドシートの活用である。振り返りをスプレッドシートに書き込むことで、タイムリーに他者参照することができ、自分の考えを深めたり文章の構成を見直すことができるなど、振り返りの質の向上に繋がると考える。2つ目は、情報収集や整理・分析の場面でのインターネット、ロイロノートの活用である。ロイロノート内にある「共有ノート」を使い、同じグループの友達と共同編集しながら話し合いを行うことで、話し合いの視点を明確にできるとともに話した内容を瞬時に記録することもできるなどのメリットが考えられる。3つ目は学習成果の集積（ポートフォリオ）である。学習課題に対して調べたことや多角的な立場から考えたこと、グループの話し合いにより導いた結論など毎時間の学びをロイロノートやスライドに集積していく。集積した内容を単元の終末で発表（アウトプット）する場面を設けることで、意欲の向上に繋がるとともに内容の理解を深めることもできると考える。

本時は、「地球規模の課題の解決と国際協力」の一時間目であり、世界で起きている問題やその問題を抱える国について「つかむ」ことが目的である。そこで世界にはたくさん問題があることや、たくさん国が問題を抱えていることに気付くことができるよう、資料を読み取り考えることや立場を明確に考えをもって話し合うこと、端末や図書資料を活用して調べまとめる活動など様々な展開を予定している。やや教師主導の展開になることも予想されるが、単元の導入でしっかりと課題をつかみ、学習の見通しを立てることができれば、単元が進むにつれて「自律的に学ぶ児童」の姿が増えてくるのではないかと考える。

3 研究主題にせまるための手立て

(1) 研究主題

自律的に学ぶ児童の育成を目指した授業づくり

～単元デザインの創造とクラウドの活用を大切に～

(2) 単元デザイン（単元〈小単元〉における、基礎・基本の指導、個別最適な学びと協働的な学びの具体）

基礎・基本の指導	個別最適な学び		協働的な学び
<p>【基礎・基本の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会における日本の役割について理解するために教科書で必要な情報を読み取り、まとめる。 地球規模の課題の解決に向けた取り組みの、相互の関連や意味について、異なる立場から考える。（多角的に考える） 	<p>【指導の個別化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会における日本の役割や、地球規模の課題の解決に向けた取り組みについて多角的に考え、深めることができるよう、一人一人の特性や学習の状況に応じて指導の方法や学習形態、時間などを柔軟に考える。 	<p>【学習の個性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習課題」や「本時で解決したい疑問」等を設定し、一人一人の興味・関心に応じた活動や課題に取り組む時間を十分に確保する。 	<p>【協働的な学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> 解決したい課題や疑問が共通する友達と小グループをつくり、分担して情報収集やまとめの作業を行う。

4 単元の目標

- グローバル化する国際社会における日本の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけることができる。
- 国際社会における日本の役割や地球規模の課題の解決に向けた取り組みの相互の関連や意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養うことができる。
- 国際社会における日本の役割について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きることの大切さについての自覚を養う。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国際連合の働きや日本の国際協力の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを図表や文などにまとめ、日本が平和な世界の実現のために重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。</p>	<p>①地球規模で発生している課題と課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、問いを見いだし、国際連合の働きや日本の国際協力の意義を考え、表現している。</p> <p>②地球規模で発生している課題と日本が行っている協力・援助を関連づけたり、総合したりして、国際社会において日本が果たしている役割を考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。</p>	<p>①日本の国際社会における役割について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追求し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことをもとに、世界の人々とともに生きていくために大切なことや、今後、国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとしている。</p>

6 単元構想は別紙参照

7 本時の学習指導

(1) 本時の目標

日本と外国を比較する活動を通して、世界でどのような課題が発生しているかをつかむことができる。

(2) 本時の評価規準

世界ではどのような課題が発生しているかをつかみ、これからの学習の見通しを持っている。

【思考・判断・表現】

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ★評価（方法）
導入	1, 日本は今幸せか？ 「はい」か「いいえ」の2択で考える。	○ロイロノート提出箱に、「はい」の人は赤付箋、「いいえ」の人は青付箋で表現させる。立場を明確にしたのち、そのように考えた理由を出し合うことで次の展開へとつなげたい。
展開	2, 日本より幸せな国はある？ 逆に日本より幸せでない国はある？	○日本より幸せでない国について、国名や理由を問うことで児童のイメージする「地球規模の課題」を少しでも引き出したい。
	3, 日本の幸福度は世界第何位だろう？	○予想した順位をロイロノートに提出し、全体で共有する。
	4, 幸福度ランキングの資料を読み取る。	○順位を予想した後に、実際の結果を資料として提示する。自分の考えと結果とのギャップから活発な話し合いへとつなげたい。
	5, 資料を掲示し、日本の幸福度について考える。 日本より幸福度が高い国に言えることは、、、 日本より幸福度が低い国に言えることは、、、	○54カ国が日本より幸福度が高く、142カ国が日本より幸福度が低いという事実をつかむ。幸福度が低い国については、その結果の理由を予想することで世界で起きている問題を想像させたい。
	6, 世界には他にどんな問題があるかな？	○インターネットや図書を活用して調べ、ロイロノート（共有ノート）に集めることで、世界にはたくさん問題があることをつかませたい。
まとめ	7, 本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">世界には数多くの問題があり、いまだに解決できてないことも多い。幸福度が低い国は、たくさん問題を抱えていると言えそうだ。しかし、幸福度が高い国についても問題がないわけではないので、、、</div>	★世界ではどのような課題が発生しているかをつかみ、これからの学習の見通しを持つことができている。 【思考・判断・表現】（ロイロノート・発言）

(4) 板書計画

地球規模の課題の解決と国際協力	
日本は今 幸せか？	日本より幸せな国は…ありそう → 日本より幸せ 54 カ国
No <ul style="list-style-type: none">・災害が多い・犯罪・地震が多い・少子高齢化	Yes <ul style="list-style-type: none">・食べ物がたくさん・戦争していない・ゲームできる・家がある・習い事ができる・学校に通える
	幸せじゃない国は… (予想) 北朝鮮 中国 ロシア ウクライナ
	戦争 自由がない
	資料
	日本より幸せでない 142 カ国
	戦争 ・犯罪 ・貧困 ・食料不足
	世界地図 (日本より上位)
	世界地図 (日本より下位)
日本は	世界規模の問題 () っ
196 カ国中 () 位	振り返り (スプレッドシートへ)